

# エリア別の交通課題について

## 【白山エリア（球技専用スタジアムの新設）】

### 交通施策・交通インフラの視点

- マイカーの利用による混雑が懸念されるが、公共交通機関の利用促進により、十分な対策が可能。
- 越後線白山駅や市役所バスターミナルを利用し、大規模な旅客輸送を既存の公共交通機関で対応できる。
- 鉄道、バス、シェアサイクルなど、公共交通機関は充実している。
- 公共交通の利用促進を進める交通施策とも一致する。（来場者数が多い施設の場合、鉄道を中心とした集客が望ましい。）
- バリアフリー化の整備も一定程度進んでおり、現在策定中の計画（移動等円滑化促進方針）にも促進地区として位置付ける予定である。
- 周辺の渋滞対策や駐車場不足に対する検討が必要。

### 自由意見（その他の視点や所感など）

- マイカーを利用できない学生や高齢者なども施設を利用しやすいことに加え、既存の公共交通機関の利用者が増え、持続可能な公共交通の確保・維持につながる。
- 新潟市景観計画の特別区域や都市計画に定める風致地区にあたること、屋外広告物条例に基づく規制への対応が必要。屋外広告物の制限は「ネーミングライツ」の取組みとも関係が深い。
- 公共交通が充実しているエリアであるため、駐車場を整備される場合の容量については良く検討して欲しい。  
（渋滞対策や滞在時間の増加などの観点より、まちなかでは特に公共交通の利用を促進したいため）

## 【鳥屋野潟南部エリア（鳥屋野野球場の移転やアリーナの新設）】

### 交通施策・交通インフラの視点

- イベント時の渋滞が課題となっている現状に加え、周辺の大型商業施設利用者等による慢性的な渋滞が発生している。今後、大規模開発の計画もあり交通処理の課題がある。
- 想定される交通課題については、道路整備のみによる解消は難しく、病院の救急搬送や消防局の活動への影響も懸念される。
- 施設整備によって新たに見込まれる自動車交通や公共交通需要の影響などを検証し、エリアに関連する各管理者（道路、公園、交通、既存施設など）、運営者、交通事業者、イベント主催者等と交通に関する協議・調整を行う必要があるものとする。
- 主な公共交通機関はバスとなる。
- バスによる基幹公共交通軸を位置付けている。
- 一定の自家用車利用を想定する必要がある。
- バス運転士の数は今後も減少していくことが見込まれており、公共交通による輸送力の確保は課題である。

### 自由意見（その他の視点や所感など）

- 鳥屋野潟南部開発計画における土地利用ゾーニングのコンセプトを踏まえた検討をお願いしたい。
- 郊外（鳥屋野潟南部エリア）に集約するだけでは、まちなかの賑わいにつながらない。